※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　学 国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学 国際文化	（学）スペイン語文化Ⅰ	2	2	白水社 「スペイン語基礎文法」改訂版

担当者からのメッセージ（学習方法等）

1. スペイン語の読み方に慣れ、正しく発音できるようにする。
2. 一つ一つの文法を丁寧に取り上げ、読みの基本を練習する。意訳の工夫、曖昧な訳の回避。
3. 取り上げた文法を用いて、各自が表現したい内容での簡単な作文が出来るようになる。
4. 西検6級の範囲を学習する(次年度受験を目標とする)。
5. スペイン語を話す国々の文化や歴史に触れ、理解を深める。

２　学習の到達目標

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・リズムやイントネーションなど、スペイン語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・スペイン語独特の文字や記号の使い方を学び、文章を読んで，情報や考えなどを理解することができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話すことができる。 ・リズムやイントネーションなどスペイン語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・簡単な語句や文を用いて自分のことを紹介できる ・既習の語彙・表現を使って自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどのスペイン語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。 ・スペイン語圏の文化について理解したことを適切に伝えることができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。

３　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	スペイン語の学習を通して、言語の特徴を理解し、言語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる知識・技能を身に着けている。	身に着けた知識・技能を、コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて的確に理解したり、適切に用いようとしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてコミュニケーションを図ろうとしている。 スペイン語圏の文化や歴史について、主体的に理解し、適切に伝えようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	アルファベット 母音・子音 音節の分け方 アクセントのルール 名詞の性・数 冠詞 形容詞	聞くこと	a: スペイン語の音声の特徴を理解している。 b: スペイン語の単語や文を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: スペイン語の単語や文を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業観察 提出物
		読むこと	a: 単語や文の構造を理解しながら読むことができる。 b: スペイン語で書かれた単語や文章の要点をとらえることができる。 c: スペイン語で書かれた単語や文章の要点をとらえようとしている。	授業観察 提出物 小テスト
		話すこと （発表）	a: 語彙の特徴や決まりを理解し、正しく発音している。 b: 簡単な語句や文を用いて正しい発音で話している。 c: 簡単な語句や文を用いて正しい発音で話そうとしている。	授業観察
		書くこと	a: 簡単な語句や文を書くために必要な書く技能を身に付けている。 b: 簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	授業観察 提出物 小テスト
	小テスト			
	主格人称代名詞 SER 動詞 文の構造 指示語 数字 0-39 国名・国籍・言語	聞くこと	a: 数字や具体的な名詞を聞き取ることができる。 b: 自己紹介や挨拶、簡単な文を聞き、話し手の意図を把握している。 c: 自己紹介や挨拶、簡単な文を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		読むこと	a: 自己紹介や挨拶、簡単な文を読み、具体的な数字や名詞をとらえ話の展開や書き手の意図を把握している。 b: 自己紹介や挨拶、簡単な文を読み、具体的な数字や名詞をとらえ書き手の意図を把握している。 c: 自己紹介や挨拶、簡単な文を読み、具体的な数字や名詞をとらえ、書き手の意図を把握しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションを円滑にする言動（うなずき・聞き返し等）の働きを理解している。 b: 自己紹介や挨拶、簡単な文に対し、自分の意見を伝えるやりとりができる。 c: 自己紹介や挨拶、簡単な文に対し、自分の意見を伝えようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		書くこと	a: スペイン語の形式や意味、使い方を理解している。 b: 自己紹介や挨拶、簡単な文の形式について正しく書くことができる。 c: 自己紹介や挨拶、簡単な文の形式について、正しく書こうとしている。	授業観察 提出物 定期考査
	期末考査			
夏季休暇レポート				
2	ESTAR 動詞 所有形容詞前置形 hay hay と ESTAR の比較 SER と ESTAR の比較 数字 40-100 前置詞 日付の表現	聞くこと	a: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について理解している。 c: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について理解しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		読むこと	a: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、内容を的確に理解し、情報を理解することができる。 b: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、内容を理解している。 c: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、内容を把握しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、自らの考えや体験を伝え、相手の話すことも理解し、やりとりを続けることができる。 c: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （発表）	a: 調べた内容を適切にまとめ、効果的な表現や語彙を使い、話すことができ、相手の話すことも理解する態度が見られる。 b: 調べた内容を適切にまとめ、伝える積極的な態度や、相手の話すことも理解する態度が見られる。	授業観察 提出物 定期考査

※令和４年度以降入学生用

			c: 調べた内容を適切にまとめ、伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする態度が見られる。	
		書くこと	a: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、自分の考えや体験を適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、自らの考えや体験を意欲的に伝えられる。 c: 数字、性質・存在・状態・所在を表わす動詞の違いやそれを用いた文について、自らの考えや体験を意欲的に伝えようとする態度が見られる。	授業観察 提出物 定期考査
	中間考査			
	規則動詞 時間の表現 暗唱大会	聞くこと	a: 規則動詞を用いた文から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 規則動詞を用いた文を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 規則動詞を用いた文を聞き、話の展開や話し手の意図を正しく把握しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		読むこと	a: 規則動詞を用いた文の意味と構造を理解し、本文を理解することができる。 b: 規則動詞を用いた文を読み、話の展開を把握することができる。 c: 規則動詞を用いた文を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （発表）	a: 規則動詞を用いた文を用いて、語彙、表現を適切に効果的に使い、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 b: 規則動詞を用いた文を用いて、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 c: 規則動詞を用いた文を用いて、意欲的に自分の意見を伝えようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （発表）	a: 暗唱文を、意味を理解しながら正確に、発音・イントネーションに注意して、表現豊かに発表できる。 b: 暗唱文を正確に、発音・イントネーションに注意して覚え、発表できる。 c: 暗唱文を正確に覚え、発表できる。	授業観察 暗唱大会
		書くこと	a: 規則動詞を用いた文を正確に用いて、語彙、表現を適切に効果的に使い、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 b: 規則動詞を用いた文を正確に用いて、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 c: 規則動詞を用いた文を正確に用いて、意欲的に自分の意見を伝えようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
	期末考査			
冬季休暇レポート				
3	不規則動詞 直接目的格人称代名詞	聞くこと	a: 不規則動詞を用いた文から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 不規則動詞を用いた文を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 不規則動詞を用いた文を聞き、話の展開や話し手の意図を正しく把握しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		読むこと	a: 不規則動詞を用いた文の意味と構造を理解し、本文を理解することができる。 b: 不規則動詞を用いた文を読み、話の展開を把握することができる。 c: 不規則動詞を用いた文を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （発表）	a: 不規則動詞を用いた文を用いて、語彙、表現を適切に効果的に使い、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 b: 不規則動詞を用いた文を用いて、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 c: 不規則動詞を用いた文を用いて、意欲的に自分の意見を伝えようとしている。	授業観察 提出物 定期考査
		話すこと （発表）	a: 調べ、体験した内容を適切にまとめ、効果的な表現や語彙を使い、話すことができる。 b: 調べ、体験した内容を適切にまとめ、伝える積極的な態度や、相手の話すことも理解する意欲的な態度が見られる。 c: 調べ、体験した内容を適切にまとめ、伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	授業観察 提出物 定期考査
		書くこと	a: 不規則動詞を用いた文を正確に用いて、語彙、表現を適切に効果的に使い、意欲的に自分の意見を伝えることができる。	授業観察 提出物

※令和４年度以降入学生用

			b: 不規則動詞を用いた文を正確に用いて、意欲的に自分の意見を伝えることができる。 c: 不規則動詞を用いた文を正確に用いて、意欲的に自分の意見を伝えようとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度